AI授業プラン・中学校

AIで練習、本番は友達と！週末トーク・リトライ

友達と話す→AIの会話アプリで言えなかったことを試す→相手を替えてもう一度話す。AIを人と話すための準備に使います。

中2　1単位時間（50分）　話すこと[やり取り]・聞くこと

次期学習指導要領とのつながり



AIを活用した会話練習は手段　恥ずかしがらずに話す練習量　人間同士のコミュニケーション　過去形

資料編は、AIの活用により、恥ずかしがらずに話すことなどの練習量を大幅に増やすことを、学校教育で対応できる方向性の一つに挙げています。一方で審議まとめは、外国語による人間同士のコミュニケーションを図る資質・能力が最終的な目標であり、AIを活用した会話練習などはそのための手段であることを原則としています。

そこで本時は、人と話す時間を前後に置き、その間にAIとの練習を
はさみます。人前で言い間違えるのが恥ずかしい生徒も、AI相手なら何度でも
言い直せます。その練習の成果を、2回目・3回目の友達とのやり取りで
使うことがねらいです。 P282 資料(外⑮)P15

ねらい

週末の出来事について、過去形を使って話したり、相手に質問したり
反応したりしながら、1分半以上やり取りを続けることができる。

準備するもの

- AIの会話アプリ（または生成AI）を使える学習用端末とイヤホン（学校・自治体のガイドラインと利用規約の年齢条件を事前に確認）
- AIへの最初の指示文（英語）のカード：You are my friend. You are a junior high school student. Please use easy English. Say only one or two sentences at a time. Ask me one question about my weekend.
- 言えなかったことメモ（ワークシート）
- タイマー

手順

① **【AIを使わない】先生が週末の出来事を話し、生徒に質問します。** 5分

> I went to a ramen shop on Sunday. It was very crowded, so I waited for thirty minutes! What did you do last weekend?
> 日曜日にラーメン屋さんに行きました。とても混んでいて、30分も待ったんです！みんなは週末に何をしたの？

② **【AIを使わない】ペアで1回目のトーク（1分）。終わったら、言いたかったのに言えなかったことを、日本語のままメモします。** 7分

Talk for one minute. After that, write what you wanted to say.
1分間話そう。そのあと、言いたかったことをメモしてね。

③ **【AIを使う】指示文カードを入力して、AIと同じ話題でやり取りします。目的は「言えなかったことを言ってみる」「AIに質問を1回返す」の2つです。本名・学校名・住所・家族の名前や、よく行く場所など個人が分かる情報は言わない・書かないことを確認します（必要なら架空の内容に変えてかまいません）。AIの返答で分からない表現や不自然だと思った表現はメモします。** 12分

Try to say the things you couldn't say. Don't use your real name or your school's name.
さっき言えなかったことを言ってみよう。本名や学校名は使わないでね。

④ **【AIを使わない】全体で、AIとの練習で言えるようになった表現と、AIの返答で「長すぎる」「本当に正しい？」と思った表現を共有します。先生が正確さを確かめて板書します（例：I stayed home and played video games. / It was fun, but I was tired.）。** 8分

⑤ **【AIを使わない】相手を替えて2回目（1分半）、さらに替えて3回目（1分半）のトークをします。メモは見ずに、相手の話に一言反応してから質問を続けます。** 13分

Look at your partner, not your notes. React and ask one more question.
メモではなく相手を見よう。反応して、もう一つ質問しよう。

⑥ **1回目と3回目を比べて言えるようになったことと、AIとの練習がどう役立ったか（または役立たなかったか）を振り返りに書きます。** 5分

評価（見取り）のポイント

【知識・技能】過去形を使って出来事を正しく伝えているかを、3回目のトークの観察で見取ります。【思考・判断・表現】相手の話に反応したり質問したりして、やり取りを続けているかを見取ります。【主体的に学習に取り組む態度】言えなかったことを練習で解決し、次のやり取りで使おうとしている姿を、振り返りで見取ります。

AIを使うなら

AIとの会話は「人と話す前の練習」として12分だけに区切り、前後に人とのやり取りを置きます。AIの返答は長すぎたり、学年に合わない表現が入ったりすることがあるので、気になった表現は全体共有で先生が確かめます。音声で話す場合は、録音や会話履歴がどう保存されるかを事前に確認し、本名・学校名・住所などの個人情報を話さないよう指導します。端末やアプリが使えない場合は、ペアの一方が先生の用意した質問カードを読む役になって代わりにできます。

うまくいくコツ・アレンジ

- AIへの指示文を英語で入力させると、それ自体が読む・書く練習になります。
- AIとの練習時間を延ばすより、3回目のトークの時間を確保することを優先します。
- 家庭学習で使わせる場合は、学校が認めたサービス・アカウントに限り、利用条件に応じて保護者の理解を得たうえで行います。話題は架空の週末にするなど個人が特定されない内容にし、「1日1話題、3往復」と量を決めると続けやすくなります。

アレンジ

- 中1では、話題を「好きな食べ物・好きな教科」にし、AIとの練習は文字入力で行います。

- 高校では、話題を「最近のニュースで気になったこと」にし、聞き返しや確認の表現をAIとの練習で試してから、人とのディスカッションで使います。

ワークシート（印刷できます）

このページを印刷

ワークシート：Weekend Talk: Try, Practice, Try Again

Write what you couldn't say. Practice with AI. Then talk again. / 言えなかったことを書き、AIと練習してから、もう一度友達と話そう。

1. 1回目で言えなかったこと（日本語でよい）：_____

2. AIとの練習で言えた英語：_____

3. AIの返答で分からなかった・気になった表現：_____

4. 3回目で使った反応や質問：_____

5. 1回目と3回目を比べて：_____

6. AIとの練習は役に立った？　□とても　□少し　□あまり　理由：_____

Name: _____ Class: _____ No.: _____

ほかのアイデア

同じ話を3つのレベルで！自分に合う英文を選んで読もう

AIに伝わる？友達に伝わる？発音チャレンジ

交流の前にAIとリハーサル！聞かれそうな質問・聞きたい質問

AI面接官でリハーサル、友達面接官で本番形式！スピーキングテスト準備

※ 次期学習指導要領は告示前です。審議まとめ（2026年10月5日）の方向性をふまえた原田英語.comのオリジナルのアイデアです。